

基本目標・具体的な施策に係る検証結果一覧

基本目標1 地域一体となって、未来を担う「木更津っ子」を育む

数値目標(P.7)

指標	現状値	H27 (実績値)	H28 (実績値)	H31 (目標値)
①出生数	1,051人 (H26年度)	1,056人 (H27年度)	1,093人 (H28年度)	1,150人
取組の評価	平成28年の出生数については、子育て支援の充実等に伴い、平成27年実績と比較して増加しました。			
今後の方針	数値目標の達成に向け、子育て支援のさらなる充実や結婚・出産に対する支援の拡充、教育環境の充実等に引き続き取り組んでいきます。			

基本的方向(1) 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援

具体的な施策① 結婚・出産に対する支援(P.8)

重要業績評価指標(KPI)				
指標	現状値	H27 (実績値)	H28 (実績値)	H31年度 (目標値)
①特定不妊治療費助成件数	— (H26年度)	— (H27年度)	82 (H28年度)	170件
②全出生数中の低体重児の割合	10.3% (H26年度)	10.32% (H27年度)	8.7% (H28年度)	9.0%
取組の評価	指標① 経済的負担の軽減を図り、少子化対策の一助となりました。 指標② 数値的には妊娠届時の全数保健指導等により達成されているが、届け出以降の妊娠期の支援を充実させていく必要があります。			
今後の方針	指標① 潜在的な需要が見込まれるため、支援にむけた制度の周知を図り、助成件数の増加を目指します。 指標② 妊娠子育て世代包括支援センター新設を中心に子育て世代へのより切れ目ない支援が必要です。 なお、実績値が目標値を越えていますが、年度によって変動があるため、平成31年度までは現在の目標値で据え置くものといたします。			

具体的な施策② 子育て支援の充実 (P.8)

重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値	H27 (実績値)	H28 (実績値)	H31 (目標値)
①保育所待機児童数	65人 (H27.4)	92人 (H28.4)	86人 (H29.4)	0人
②放課後児童クラブ数	31箇所 (H27.4)	35箇所 (H28.4)	38箇所 (H29.4)	40箇所
③新生児訪問実施率	92.8% (H26年度)	96.93% (H27年度)	99% (H28年度)	100%
④一体型放課後子ども教室数	— (H27年度)	— (H27年度)	— (H28年度)	2教室
取組の評価	指標① 保育所の建設補助及び公立保育園の受入児童数の増加により、平成27年度と比較して待機児童数が減少傾向となりました。 指標② 放課後児童クラブの積極的認可により小学生の受入数を拡大したため、増加しました。 指標③ 移住等で縁のない地での子育てをする若い世代が増えている中、産後に殆どの子育て世代へ支援をしたことにより、育児不安の軽減に効果があったと考えられます。 指標④ 昨年度は、学校の空き教室の手配が出来ず、実施に至りませんでした。			
今後の方針	指標① 子育て支援の施策に伴い切れ目のない支援が拡充していますが、保育所の増築に加え、民間保育園の整備促進を行うことで、待機児童数の解消を目指します。 指標② 目標値達成に向けて、放課後児童クラブの設置認可の積極的な推進を図ります。 指標③ 安心して子育てに取り組む自信を持ち、今後も子どもを生み育てる気持ちを持つことにつながると考えられるため、新生児訪問を継続します。 指標④ 放課後子ども教室と放課後児童クラブが同じ小学校敷地内に設置されている箇所について、共通プログラムの実施や運営体制づくり等について検討することで、一体型放課後子ども教室の増加を目指します。			

基本的方向(2) 働きながら産み育てやすい環境づくり

具体的な施策① ワーク・ライフ・バランスの促進 (P.9)

重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値	H27 (実績値)	H28 (実績値)	H31 (目標値)
①ワーク・ライフ・バランスの促進のためのセミナー参加者数	50人 (H26年度)	185人 (H27年度)	109人 (H28年度)	200人
②子育て中の方向け就労支援セミナー参加者数【累計】	12人 (H26年度)	18人 (H27年度)	28人 (H28年度)	75人
③子育て世代女性を対象にしたセミナー参加者数(eラーニング受講者等も含む)【累計】	— (H27年度)	110人 (H27年度)	122人 (H28年度)	130人
④子育て世代女性を対象にしたセミナー参加者のうち、就労した人数【累計】	— (H27年度)	15人 (H27年度)	15人 (H28年度)	17人
取組の評価	指標① 平成28年度は、3回のセミナーのうち1回を異なるテーマで開催したため、ワーク・ライフ・バランス促進のためのセミナー参加者数としては減となりましたが、男女共同参画の意識を高めることにつながったと考えられます。 指標② 子育て中の方向け就労支援セミナー参加者数の増加については、子育て中の方の働き方について、市民のニーズがあったことが要因として考えられます。 指標③ 平成28年度は、きさらづ働くママ応援サイトにおけるeラーニング受講推進に向けて、関係機関、関係各課等と連携し、周知・PRを行ったところ、地域版講座に12名の登録がありました。また、民間の専門企業等が提供する講座を介して、子育て世代女性のニーズに合った資格の取得等ができるよう、ハローワーク木更津と連携し、サイト内の紹介講座を増やしました(2講座→28講座)。 指標④ 平成28年度は、就労に直結するようにeラーニング講座拡充に努めましたが、就労した人数は0でした。今後、eラーニング講座の拡充に伴い利用者が増加し、効果が出てくるものと考えられます。			
今後の方針	指標① 男女共同参画フォーラムは毎年開催しており、ワークライフバランスを促進していくためには、継続的な啓発活動が不可欠であるため、参加しやすいテーマ設定や会場選定等に配慮しながら実施していきます。 指標② 子育て中の方の就労ニーズを踏まえ、企業と連携したセミナー等を検討、実施していきます。 指標③、④ 今後も子育て世代女性等を対象に、きさらづ働くママ応援サイトをプラットフォームとした情報発信等に関するセミナー等を行い、サイトを見た就労に迷いのある子育て世代女性の就労意欲の向上を図ります。			

基本的方向(3)「木更津っ子」を育む教育の充実

具体的な施策①「木更津っ子」を育む教育の充実 (P.10)

重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値	H27 (実績値)	H28 (実績値)	H31 (目標値)
①運動能力証合格率	39.7% (H26年度)	40.36% (H27年度)	40.40% (H28年度)	42.0%
②肥満(肥満度20%以上)の割合 (①小学生、②中学生)	①8.3% ②9.8% (H26年度)	①8.1% ②9.2% (H27年度)	①8.9% ②8.8% (H28年度)	①5.8% ②7.3%
③やせ(肥満度－20%以下)の割合 (①小学生、②中学生)	①1.0% ②2.6% (H26年度)	①1.3% ②3.2% (H27年度)	①1.0% ②4.0% (H28年度)	①0.5% ②2.1%
④責任感を持って係りなどの仕事に取り組んでいると回答した児童生徒率	94.9% (H27.5)	94.95% (H28.2)	95.25% (H29.2)	97.0%
取組の評価	指標①、②、③ 指標②の小学生について、割合が増加していますが、成人病に直接繋がる高度肥満(50%以上)は増加していないこと、また指標③の中学生については、高度やせ(－30%以上)に変化はなく、やせの中心は男子であり、思春期の男子に見られる傾向であることから、現状維持ととらえています。 取り組みとして、体育授業の充実を図るとともに、業間休み等を使って運動習慣を身につけさせた結果、運動能力証合格率向上につながりました。また、木更津工業高等専門学校との提携による小学生陸上教室を開催し、運動機会の増大を図ることができました。そして、生活習慣病予防検診の結果を踏まえ、保護者への指導等とがん教育に関する授業を行うことにより自身の健康に対する関心を深めました。 指標④ 道徳の時間における授業内容の充実を図ることにより、規範意識の向上につながり、責任感を持って係りなどの仕事に取り組む姿勢がみられました。			
今後の方針	指標①～④ 平成29年度より、学校教育「木更津プラン」の各学校における具体的取組に「保健の授業で、生活習慣病の予防及びがん教育に関する授業の実施に努める」と明記し、各学校において取組を強化するとともに、生活習慣病予防検診の結果を踏まえ、保護者への指導等の充実を図り、自身の健康に対し一層の関心を深める取組を強化していきます。その上で、関係機関及び地域社会との連携の強化も含め、教育内容の充実を図り、一層の児童生徒の健康増進、身体能力の向上及び意識高揚へとつなげていきます。 また、道徳等の時間を利用して、自分たちの住む地域を学ぶことにより、郷土に対する理解を深めていきます。			

具体的な施策② 食育の推進 (P.11)

重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値	H27 (実績値)	H28 (実績値)	H31 (目標値)
①主食、主菜、副菜を取り揃えて食べている人の割合(①1歳6ヶ月児、②3歳児)	①65.3% ②60.4% (H26年度)	①65.0% ②62.3% (H27年度)	①65.2% ②55.4% (H28年度)	①75.0% ②70.0%
②地元産食材(オーガニック野菜等)を使用しながら、給食残渣を活用した循環を実施する学校数	— (H26年度)	2校 (H27年度)	2校 (H28年度)	7校
③学校で使用する地元産食材(オーガニック野菜等)の種類	— (H26年度)	1種類 (H27年度)	16種類 (H28年度)	23種類 —7種類—
取組の評価	指標① 3歳児の実績値が下がった背景には、1.6歳児健診指導受けた保護者が主食・主菜・副菜を理解し、1日2回は揃えられるが、毎食は揃える事が難しく自己評価が厳しくなった事が考えられます。また、孤食や牛乳の摂取不足等の個別問題を重視し、指導内容が分散したことが考えられますが、健診時に栄養士が全数個別指導を行っており、1.6歳児健診では、主食・主菜・副菜、共食等、チラシを作成することで、指導に努めました。 指標② 平成27年度から継続して同じ学校で取組を行い、循環を題材とした食育の授業を実施しました。このことにより、KPI値達成に向け前進しているものと考えます。 指標③ 月に1回、地元農家等と野菜会議を開催し、地元産食材(オーガニック野菜等)を積極的に取り入れることができました。			
今後の方針	指標① 主食、主菜、副菜を取り揃えて食べている人の割合について、主食、主菜、副菜を認識している人が増えていることは評価できると思います。ただ、主食、主菜、副菜を揃えることが課題の家庭もあることから、行動に結びつく具体的な指導を実施していきます。 指標②、③ 学校関係については、循環を実施する学校数を増やすと共に、地元農家等との野菜会議を継続しながら、地元産食材(オーガニック野菜等)の安定供給を確保します。なお、指標③については、平成28年度実績が平成31年度の目標値を達成したことから、目標値を見直し変更しました。			

基本的方向(4) 若い世代の経済的安定の確保

具体的な施策① 若い世代の経済的自立支援 (P.11)

重要業績評価指標 (KPI)				
指標	現状値	H27 (実績値)	H28 (実績値)	H31 (目標値)
①若年者向け就労支援セミナー参加者数【累計】	11人 (H26年度)	17人 (H27年度)	24人 (H28年度)	70人
②若年者向け合同企業就職説明会参加者数【累計】	8人 (H26年度)	8人 (H27年度)	8人 (H28年度)	55人
取組の評価	指標① 就職状況の好転により、基礎的なセミナーへの参加者が少なかったものと思われます。平成31年度のKPI達成に向けて、現状を踏まえた内容の強化を図る必要があります。 指標② 共催元となるハローワークと協議した結果、近年の就職状況の好転等により、参加者が集まる見込が立たず、開催が見送りにになりました。			
今後の方針	指標① 現在の就職状況に合わせた内容及び、実施時期等を検討し、セミナーの開催に重点を置くことで支援を目指します。 指標② 就職状況を考慮し、必要に応じてハローワークとの共催を検討していきます。			